

## 2011 年度日本農業経済学会第 2 回常務理事会の議事概要

○開催日時：2012 年 3 月 11 日（日）13:00～16:00

○開催場所：東京国際フォーラム G607 会議室

○出席者：本間正義会長、盛田清秀副会長（学会誌）、斎籐修副会長（学会賞・国内学術（18 名）交流）、末原達郎副会長（国際交流）、柳村俊介副会長（企画）、小林弘明常務理事（和文誌編集）、荒山裕行常務理事（英文誌編集）、納口るり子常務理事（学会賞・国内学術交流）、立川雅司常務理事（国際交流）、南石晃明常務理事（企画）、千年篤常務理事（財務）、仙北谷康常務理事（北海道地区）、木下幸雄常務理事（東北地区）、酒井富夫常務理事（北陸地区）、徳田博美常務理事（中部地区）、大隈満常務理事（四国地区）、江川章常務理事（庶務担当）、（財）農林統計協会・武石氏（事務局）

○欠席者：寺内光弘常務理事（情報）、高田理常務理事（近畿地区）、駄田井久常務理事（中国地区）、白武義治常務理事（九州地区）

### 1. 報告事項

#### （1）大会企画関係（2012 年度学会大会〔九州大学〕のプログラムについて）

- ・ 企画担当副会長より、2012 年度学会大会（3/29～/30）のプログラム（大会シンポジウム、日韓シンポジウム、ミニシンポジウム等）について説明があった。

#### （2）国際交流関係

- ・ 国際交流担当副会長より、学会大会での日韓シンポジウム（2012/3/29）の内容、第 7 回アジア農業経済学会（2011/10/13-15、ハノイ）の結果、国際農業経済学会（2012/8/18-24、ブラジル・イグアス）の内容について説明があった。
- ・ 同担当副会長より、国際農業経済学会日本支部（IAAE-JB）の解散に伴う基金は、国際交流費として特別会計Ⅱに組み入れ、使途は若手研究者の IAAE 派遣費用に充当すると報告があった（派遣に当たっての基準等は協議事項で後述）。

#### （3）大会実行委員関係

- ・ 企画担当常務理事より、大会準備状況や大会実行予算の執行見通しについて説明があった。

#### （4）学会賞・国内学術交流関係

- ・ 学会賞・国内学術交流担当副会長より、2011 年度の学会賞応募は、募集期間を延長したものの、エントリーがなかったことが報告された。また、同担当副会長より、生源寺眞一会員が業績論文「現代日本農業に関する経済分析と政策研究」によって平成 24 年度日本農学賞を受賞し、受賞者講演会（計 7 名）と祝賀会が 4 月 5 日に東京大学山上会館で開催されると報告があった。
- ・ 編集担当副会長より、3/9 に開催した 2011 年度学会誌賞選考委員会（対象論文は第 82 巻第 4 号～第 83 巻第 3 号）で最終候補論文を確定し、3/28 の学会理事会の議を経て学会誌賞を決定すると報告があった。

## (5) 学会誌関係

- ・ 和文誌担当常務理事より、和文誌の編集状況について報告があり、農業経済研究別冊（学会論文集）は昨年 12 月に刊行（論文採択率は 66%）、農業経済研究は第 84 巻第 1 号（2012 年 6 月刊行）が編集中であると報告があった。また、次期編集委員（和文誌）は 3/28 の学会理事会で提示すると合わせて報告された。
- ・ 同担当常務理事より、現状では、個別口頭報告・個別ポスター・特別セッションそれぞれにエントリーした者が、報告後は最大 3 本のトップネーム投稿（学会論文集）ができるという説明があった。そこで、同一のトップネームで複数の論文が掲載されるのは学会論文集の評価を下げることになるため、トップネームでの投稿はいずれか 1 本で行うよう本人に通知すると報告された。なお、こうした措置については、次期の大会案内時に明記することを確認した。
- ・ 英文誌担当常務理事より、2011 年度末に英文誌（JJRE）の刊行を予定しており、次期編集委員名簿（英文誌）を 3/28 の学会理事会で示すと報告があった。
- ・ 同担当常務理事より、学会論文集所収の英語論文を学会英文誌（JJRE）に収録することの検討結果が報告された。海外からの利用・評価の向上やアジア諸国との連携を考慮すると、学会論文集に和文・英文が混在している現状は好ましくないことから、JJRE に英語論文を一本化することを承認。今後は、新体制下の第 1 回常務理事会（2012 年 6～7 月開催予定）で JJRE の編集方針を検討したうえで、同年 11 月学会大会の案内で会員に通知し、2012 年度の理事会で投稿規程の変更等を諮ることを承認した。なお、こうした手続きが順調に進めば、2014 年 3 月版から新編集方針での JJRE の刊行となることを確認。

## (6) 会計関係

- ・ 財務担当常務理事より、3/9 に 2011 年度決算等に対する会計監査を実施し、監査承認を受けたことが報告された。

## (7) 庶務・情報関係

- ・ 庶務担当常務理事より、学会会員の動向についての説明があり、2012 年度は学会名簿の更新作業を行うと報告された。

## (8) その他

- ・ 庶務担当常務理事より、2012 年 2 月 22 日（水）～3 月 2 日（金）に持ち回りで関東地区理事会を開催し、庶務担当理事の選出順番、次期（2012～13 年度）・次々期（2014～15 年度）の庶務担当常務理事の担当校が決定したと報告があった。

## 2. 協議事項

### (1) 決算・予算案について

- ・ 2011 年度決算ならびに 2012 年度予算案について、特別会計Ⅱの箇所に IAAE-JB 基金と、2012 年度 IAAE 大会への寄付金額を追記すると報告があり、承認された。
- ・ 前述した IAAE-JB 基金を活用して若手研究者を IAAE に派遣するに当たっての基準等は次期に申し送るが、2012 年度は開催年度であるため、IAAE-JB 基金を弾力的に運用することが了承された。

- ・ 学会大会を開催するにあたり、近年では会場費負担が大きくなり、大会実行予算に影響を及ぼしているため、特別セッションの会場費を大会実行予算とは別枠にすることを今後検討していくことを承認。

#### (2) 次期理事および監事の推薦について

- ・ 庶務担当常務理事より、次期理事および監事については内諾を得ており、3/28の学会理事会で提示すると説明があり、承認された。

#### (3) 名誉会員の推薦について

- ・ 庶務担当常務理事より、名誉会員の推薦名簿（2名）の説明があり、承認された。

#### (4) 2013年度大会・2014年度大会について

- ・ 企画担当副会長より、2013年度大会および2014年度大会の開催校（いずれも内諾済）について報告があり、承認された。

#### (5) 総会次第および総会資料について

- ・ 庶務担当常務理事より2012年度学会総会の議題について説明があり、任期途中での理事交代の項目を設けるほかは、ほぼ例年どおりの議題内容とすることを承認。

#### (6) その他

- ・ 会員名簿の電子化に伴う作業や費用見積もりについて、庶務担当常務理事より説明があった。2年後の学会名簿更新時には電子名簿が活用できるよう、次期体制で電子化に伴う費用や作業をさらに検討するよう申し送ることを承認。
- ・ 庶務担当常務理事より、学会誌のアーカイブ化（J-STAGE）について説明があり、次期体制で情報化委員会（仮称）を立ち上げ、E-journal化と合わせ検討するよう申し送ることを承認。

### 3. その他

- ・ 将来的な会員動向をにらんで、会費水準や寄付等を検討し、財政基盤を強化していく必要があることを確認。
- ・ 学会運営の円滑な引継ぎが行えるよう、庶務担当常務理事が中心となって役職ごとの分担関係を整理していくことを確認。その一環として、たとえば学会内の各種委員会については半数ずつ改選することが提起された。
- ・ 昨年の東日本大震災に伴う大会延期措置を踏まえ、学会としての緊急連絡体制を整備することを確認した。

以上。